



【3月の医療情報】

インフルエンザに引き続き注意を

西大寺会陽を過ぎ、日中は少しずつ春の気配を感じる季節になりました。

一方で、岡山県内では現在もインフルエンザの流行が続いています。これまでA型が中心でしたが、最近ではB型の報告が増えており、流行が長引く可能性があります。例年、シーズン後半に型が移り変わることがあり、いったん感染者数が減少傾向に見えても、再び患者報告が増えるケースもあります。引き続き注意が必要な状況です。

年度末から新年度にかけては、進学・就職・異動など人の移動が増える時期でもあります。家庭内や職場内での感染拡大を防ぐためにも、基本的な感染対策の継続が重要です。

- ・ こまめな手洗い、手指消毒
- ・ 適切なマスクの着用
- ・ 十分な休養と体調管理
- ・ 発熱や咳などの症状がある場合は、無理をせず早めの受診

春を元気に迎えるために、あと1か月ほどは気を緩めず、感染予防を心がけましょう。

※岡山市保健所の直近の公開データ（第8週：2/16～2/22）では、インフルエンザの定点あたり報告数は35.17で、警報基準（30）を上回る水準となっています。

体験

©ハローワーク西大寺
情報発信キャラクター



ハイハイドクター
しゅんPが
やってくる！



SAIDAIJI 南 健康フェス 2026

（医療介護連携交流会同時開催）

開催決定！

学び

5 | 16
土曜日

2019年の「看護の日・病院の日フェスティバル」から7年。西大寺南地区に健康フェスが帰ってきます。パトカー・消防車の来場や看護師体験、屋外フードコーナーなど、家族で楽しめる企画を準備中。吉本興業所属で現役医師芸人「しゅんしゅんクリニックP」さんの公開講座も予定しています。詳細は、順次発表していきます。続報をお楽しみに。





地域をつなぐ 医療と介護

第5回は、地域密着型特別養護老人ホーム いやしの杜をご紹介します。施設長の難波温子さんは、3年前に法人内のグループホームから着任しました。施設のあり方を見つめ直すところから、現場づくりに取り組んできました。今回は、難波施設長のお話を通していやしの杜が大切にしている想いをご紹介します。

< Information >



社会福祉法人
廣仁会

地域密着型 特別養護老人ホーム いやしの杜

岡山県岡山市中区海吉1447番地7
086-276-8100



- 特別養護老人ホーム
- ショートステイ

入所やご利用の条件など詳細はお問い合わせください。

今までの人生をかみしめるように、 疲れを癒すように、これからの人生を歩んでほしい。

いやしの杜は、入所される方とご家族との信頼関係を、何よりも大切にしている施設です。施設長として着任してから、施設のあり方を見つめ直し、あらためて一つひとつの取り組みを積み重ねてきました。入所される方を大切にすることはもちろんのこと、同じくらい、働く職員同士の信頼関係を大切にすること。人と人の距離が近い介護の現場だからこそ、その土台づくりを丁寧に続けてきました。今では、入所される方やご家族との関係を何よりも大切にし、とくに「看取り」の時間については、24時間いつでも、ご家族と一緒に過ごせるよう、職員全員で支えています。最後の時間を共に過ごせたことへの感謝の言葉が、現場の支えにもなっています。日々の暮らしの中では、ただ「入所する場所」ではなく、その人らしい生活を送っていただくことを大切にしています。食堂に出て、会話をし、喜怒哀楽を分かち合う。そんな当たり前の時間を積み重ねながら、人と人の関係を大事にしています。「一日一回は、入所者さんを楽しませてほしい」。その想いのもと、職員が一つになって、今日も現場に向き合っています。



写真左：難波施設長



とても楽しそうにお話しされるのが印象的でした。

いやしの杜様とは、連携医療機関として日頃より密に連携を取らせていただいておりますが、難波施設長のお話からも、入所者の皆さまを大切にされていることが伝わってきます。お話を終えて、医療介入が必要な場合には、施設に寄り添った適切な対応のできる病院でありたいと感じました。（医療福祉連携部長 内田 純子）